



可能性に賭けない、 可能性を楽しみます！

令和6年度の地域おこし協力隊の委嘱式を4月1日、丹波山村役場2階で行いました。新たな協力隊員2名を迎え、今年度は14名で活動を開始しました。新しいメンバーも加わり、これからも村民の一員として、丹波山での活動をさらに充実させていく所存です。

みなさまの期待に応えられるよう、協力隊一同、力を合わせて頑張りますので、引き続きよろしくお願ひします。



新 NEW FACE



新しい 隊員紹介



今年度、経験豊富なベテランと変わった若手の地域おこし協力隊員が丹波山村に移住しました。二人は歳もキャリアも異なりますが、村の魅力を活かす活動を展開しています。皆さんの応援を願います。

倉持 正志 くらもち まさし

所属：一般社団法人たばやま観光推進機構

平 将門に導かれし運命...?

茨城県坂東市から移住してきた倉持正志です。旅行好きで時刻表マニアです。市役所の商工観光課で働いていた経験やこれまで学んできたスキルを活かし、丹波山村の観光を盛り上げたいと考えています。坂東市も平 将門伝説がある地であり、丹波山村との縁を感じています。地元を離れることや一人暮らしは初めてで、些細なことで戸惑うことも多いですが、少しずつ慣れていきたいと思っています。

大曾根 悠太 おおそね ゆうた

所属：丹波山村役場 地域創造課



Instagramで
作品を公開中

『絵』と『農』で村と関わりたい

埼玉県小川町から移住してきました。友人から丹波山の環境の魅力聞き、移居前から何度も来ていました。丹波山の空気や雰囲気がとても自分にあっただのでこの地域に住みたいと考えるようになりました。丹波山では、主に絵の創作と焼き芋をやりたいです。絵は小さい頃から、生き物や食べ物など「命」をテーマに描いていて、丹波山でも観て感じたものを描いていきたいです。焼き芋は、小川町では畑を借りて、サツマイモの栽培からやっていた。現在奥秋の方に畑をお借りして農業奮闘中です！



作：大曾根悠太 丹波川・春提